

言論NPOは3月10日、世界10カ国のシンクタンクトップが参加する 「東京会議2018」を開催し、議論での合意をG7議長国に提案します ～北朝鮮に関するセッションには小野寺五典・防衛大臣の登壇が決定～

非営利シンクタンク言論NPO（東京都中央区湊、代表：工藤泰志）は3月10日（土）13時30分より、「東京会議2018」のオープンフォーラム、並びに記者会見を行います。なお、第二セッションの冒頭に、小野寺五典・防衛大臣の登壇が決定しましたので併せてお知らせいたします。

2017年、トランプ米大統領が一国主義を唱え、多国間協力に消極的な態度を示し、G7やG20では多国間の協力に関して、亀裂が表面化しました。一方で、北朝鮮の核問題が世界最大のリスクとなり、国際社会としてこの課題にどう取り組むのか、答えは出ています。

こうした状況下で、今回の「東京会議2018」では、自由と民主主義や「多国間主義」に伴う国際協力など、世界の規範を発展させる立ち位置から、いまある課題にどう対応し、そしてG7にどのような提案をしていくのか。そして、北朝鮮の核問題にどのように対処していくのか、世界10カ国のシンクタンクから代表者が参加し議論を行います。

議論終了後には、議論の中で合意を得たものを、日本政府及び本年G7議長国を務めるカナダ政府に提案すると同時に、記者会見を開催いたします。

報道関係者の皆様には、「東京会議」のオープンフォーラム、並びにその後に開催する記者会見にお席をご用意させていただきますので、ぜひともをご取材いただきたく、お願い申し上げます。

「東京会議」オープンフォーラム概要

日 時：2018年3月10日（土）13：30～18：00 （開場13：00～）

会 場：国連大学3階 ウ・タント ホール

内 容：13：30～13：45 開会挨拶他

13：45～15：45 第一セッション「世界秩序の不安定化とリベラルな秩序の未来とG7の役割」

16：00～17：40 第二セッション「北朝鮮の核開発の排除と戦争回避のシナリオをどう描くか」

17：40～18：00 声明発表・閉会挨拶

参加者：

【アメリカ】ジェームス・ゴーリー（外交問題評議会（CFR）上級客員研究員）

【イギリス】ジョン・ニルソン・ライト（王立国際問題研究所（チャタムハウス）シニア・リサーチ・フェロー）

【イタリア】エトレ・グレコ（国際問題研究所（IAI）ディレクター）

【インド】サンジョイ・ジョッシャー（オブザーバー研究財団（ORF）理事長）

【シンガポール】オン・ケンヨン（S.ラジャトナム国際研究大学（RSIS）副理事長）

【カナダ】ロヒントン・メドーラ（センター・フォー・インターナショナル・ガバナンス・イノベーション（CIGI）会長）

【フランス】トマ・ゴマール（フランス国際関係研究所（IFRI）ディレクター）

【ブラジル】カルロス・イヴァン・シモンセン・レアル（ゲテューリオ・バーガス財團（FGV）会長）

【ドイツ】ギッタ・ロースター（ドイツ国際政治安全保障研究所（SWP）会長特別補佐）

【日本】

小野寺五典（防衛大臣）

工藤泰志（言論NPO代表）

川口順子（明治大学国際総合研究所フェロー、元外務大臣）

西 正典（元防衛事務次官）

藤崎一郎（日米協会会长、元駐米大使）

宮本雄二（宮本アジア研究所代表、元中国大使）他

オブザーバー参加：

【韓国】尹 德敏（元韓国国立外交院院長）、文 聖默（韓国国家戦略研究統一戦略センター長）

【中国】陳小洪（元国務院発展研究センター企業所所長）

「東京会議」記者会見

日 時：2018年3月10日（土）18：10～18：30

会 場：国連大学3階 ウ・タント ホール

参加者：工藤泰志（言論NPO代表）他

本件についてのお問い合わせ先

電話：03-6262-8772 FAX：03-6262-8773

言論NPO 事務局（担当：宮浦）

「東京会議」概要

言論NPOは、世界が大きく変容する中、民主主義と国際秩序の将来、また、国際社会が直面している様々なグローバルイシューについて「自由」と「民主主義」という価値を共有するアメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、カナダのG7各国にインド、インドネシア、ブラジルを加えた10カ国の世界を代表するシンクタンクのトップが東京を舞台に議論する常設対話の場である「東京会議」を2017年3月に設立しました。

世界的に大きなパワーバランスの変化の中で、不安定化する国際秩序、世界経済のリスクをはじめ様々なグローバル課題が深刻化しています。行き過ぎたグローバリゼーションは多くの経済・社会的問題を引き起こし、グローバリゼーションと国民国家の関係、そして責任ある個人の自由をベースにしたリベラルデモクラシーへのチャレンジが始まっています。

先進国においてもポピュリズムが広がり、保護主義や排外主義的言説が目立つ中、民主主義や自由、平等といった共通の価値を有してきたG7を構成する先進国、そして新興国はこれらの課題にどのように取り組むべきなのか。

東京会議では、単に議論を行うだけではなく、公開フォーラムや非公開会議などの議論を通じて導き出された合意点や主張を、G7に対するメッセージとしてG7議長国並びに日本政府に提言する仕組みになっています。こうした議論や提言の内容は、日本語と英語で国内外に発信され、課題解決につながる動きを市民社会に作り出すことを目指しています。

さらに、グローバルイシューへの取り組みについて、様々な議論を重ね、国内に厚みのある言論空間を作り出し、東京を拠点に国際会議を行うことによって、日本のオピニオン発信を行うと同時に、主体的に世界の課題に貢献する姿を国際社会に示したいと考えています。

言論NPOは、今回立ち上げた「東京会議」を舞台に共通の価値観を持つ知識層や言論人との連携を行い、世界の課題に取り組むと同時に、課題解決型の世論形成に向けて、日本の影響力を拡大していく考えています。

参加シンクタンク：

【アメリカ】外交問題評議会（CFR）	【カナダ】国際ガバナンス・イノベーションセンター
【イギリス】王立国際問題研究所（チャタムハウス）	【インド】オブザーバー研究財団
【イタリア】イタリア国際問題研究所（IAI）	【シンガポール】S.ラジャトナム国際研究大学（RSIS）
【フランス】フランス国際関係研究所（IFRI）	【ブラジル】ゲテューリオ・バーガス財團
【ドイツ】ドイツ国際政治安全保障研究所（SWP）	【日本】言論NPO

※ワールド・アジェンダ・カウンシル（WAC）とは

言論NPOは、2016年2月に世界が直面する地球規模的な課題の解決に向けた日本国内の議論形成、およびその解決策を東京から国際社会に発信するための有識者会議「ワールド・アジェンダ・カウンシル（WAC）」を発足させました。日本の3大シンクタンクの代表者、専門家、経済人、メディア関係者が横断的に参加し、恒常的に各分野の議論を実施するとともに「東京会議」の準備委員会も担っています。

◆委員・専門委員（順不同）

赤阪 清隆	フォーリン・プレスセンター理事長、元国連事務次長	長谷川閑史	武田薬品工業株式会社取締役会長、前経済同友会代表幹事
岡野 進	大和総研顧問	藤崎 一郎	日米協会会长、前駐米大使
工藤 泰志	言論NPO代表	湯元 健治	日本総合研究所副理事長
古城 佳子	東京大学大学院総合文化研究科教授	内野 逸勢	大和総研金融調査部主席研究員
小松 浩	毎日新聞社主筆	押谷 仁	東北大学大学院医学系研究科微生物分野教授
近藤 誠一	近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官	菅原 淳一	みずほ総合研究所調査本部政策調査部主席研究員
杉田 弘毅	共同通信社論説委員長	鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授
滝澤 三郎	国連UNHCR協会理事長、元UNHCR駐日代表	藤野 純一	地球環境戦略研究機関プログラム・マネジメント・オフィス上席研究員
田所 昌幸	慶應義塾大学法学部教授		

本件に関してのお問い合わせ先

電話：03-6262-8772 FAX：03-6262-8773

言論NPO事務局（担当：宮浦）

■世界10カ国のシンクタンク概要

【日本】言論NPO

「健全な社会には、当事者意識を持った議論や、未来に向かう真剣な議論の舞台が必要」との思いから、2001年に設立された、独立、中立、非営利のネットワーク型シンクタンク。2005年に発足した「東京一北京フォーラム」は、日中間で唯一のハイレベル民間対話のプラットフォームとして13間継続しているまた、2012年には、米国外交問題評議会が設立した世界25カ国のシンクタンク会議に日本から選出され、グローバルイシューに対する日本の意見を発信しているこの他、国内では毎年政権の実績評価の実施や選挙時的主要政党の公約評価、日本やアジアの民主主義のあり方を考える議論や、北東アジアの平和構築に向けた民間対話などに取り組んでいる。

【アメリカ】外交問題評議会（CFR）

1919年のパリ講和会議での困難を極めた交渉や、アメリカ上院のベルサイユ条約の批准否認を受けて、外交官、経済人、学者、弁護士らのグループが、アメリカには世界的な重責と意思決定への準備が必要だという思いから、1921年に「アメリカに影響を及ぼす国際的な議論について、国家制度、金融、産業、教育、科学などの専門家を集めて、継続的な会議を行う」目的で外交問題評議会を立ち上げる。

【イギリス】王立国際問題研究所（チャタムハウス）

1919年のパリ講和会議において、将来的に戦争を防ぐために外交の機関の必要性が認識され、米国の CFR の姉妹機関として、「英國国際問題機関（The British Institute of International Affairs）」としてロンドンに誕生した。1926年には王立条項を受け、現在の「王立国際問題研究所」となる。

【イタリア】イタリア国際問題研究所（IAI）

IAIは1965年に設立され、昨年50周年を迎えた非営利の組織で、1991年に現在のローマの建物に移転した。創設者は政治家でイタリア共産党青年部で反ファシズム活動を行っていたアルティエロ・スピネッリ氏。EU創設に尽力した一人である。

【インド】オブザーバー研究財団（ORF）

1990年、インドが国際経済の秩序に対し新しいかかわり方を模索し始めている最中、インドが直面する課題に対し批判的に調査し、かつ一貫した政策的反応を発展させることができるような独立したフォーラムの必要性が叫ばれ ORF が誕生した。ORF はインドにおいてはじめて経済学者と政策立案者を一つにし、インドの経済リפורームへのアジェンダを提示した。

【カナダ】センター・フォー・インターナショナル・ガバナンス・イノベーション（CIGI）

ブラックベリーの創業者によって設立された国際ガバナンス・イノベーションセンター（CIGI）は、2001年に喫緊の経済やグローバルな政策課題のガバナンスに関して政策的な考えを前進させるため、独自のグローバルな視点を持った独立の非営利・無党派シンクタンクである。2005年にはプログラムの拡大が進み、G8システムの改革提案はG20の創設につながるなど大きな影響を持ち始めた。CIGIは、国際的に大きな影響を与える課題について、国際ガバナンス分野を牽引する国際シンクタンクとしてあり続けることを掲げている。

【シンガポール】S.ラジャトナム国際研究大学（RSIS）

RSISは、当副総理と防衛大臣を務めていたトニー・タン・ケン・ヤム（第7代シンガポール大統領）が1996年に創設した防衛戦略研究所を前身として、シンガポール南洋理工大学内に2007年に誕生した。RSISのミッションは、アジア太平洋地域に於ける国際戦略に関する先鋭的な研究や大学院教育を提供することにある。

【ドイツ】ドイツ国際安全保障研究所（SWP）

SWPは1962年に設立され、現在ベルリンにヘッドオフィスを構える、国際政治分野において最もヨーロッパで規模が大きい非営利のシンクタンクである。2009年よりブリュッセルにもオフィスを開き、EUやNATO関連の機関と活発に議論を行っている。

【フランス】フランス国際関係研究所（IFRI）

IFRIは1979年にフランスで初めてのシンクタンクとして誕生し、フランスで世界レベルの影響力を持つシンクタンクの一つに名を連ねる、独立した無党派の非営利組織。1995年に長期的な組織運営を見据え、現在の場所にビルを構えた。2014年から2015年には、4年間かけて行った経営文化や情報に富んだウェブサイトの改革に取り組み、新しい運営体制を整えている。40年以上に渡りフランスにおいて堅実な専門家やしっかりとした評判を築いている。

【ブラジル】ゲテューリオ・バーガス財団（FGV）

FGVは公共・プライベートセクターの行政分野において質の高い人材を育てる目的で1944年に設立された。当時のブラジルがその後の経済成長を見越したことを念頭に置き、FGVも行政分野だけでなく社会科学と経済分野にも拡大。公共・プライベートの行政分野において、初めて大学と大学院教育をブラジルで提供した他、経済学・心理学・会計・教育分野においてもブラジルで初めて大学院プログラムを提供した。

**ご返信期限:3月8日(木)まで**

ご返信先 FAX 番号 : 03-6262-8773

ご取材申し込み用紙

下記の事項をご記入後FAX(03-6262-8773)いただか、同様の事項をメール(forum@genron-npo.net)にご記入の上ご出欠のお返事をお送り下さいますようお願い致します。(担当:宮浦)

3／10 (土) 13：30～15：45	「東京会議 2018」オープントーラム第1セッション 「世界秩序の不安定化とリベラルな秩序の未来と G7 の役割」 国連大学3階 ウ・タント ホール	<input type="checkbox"/> ご出席 <input type="checkbox"/> ご欠席
3／10 (土) 16：00～18：00	「東京会議 2018」オープントーラム第2セッション 「北朝鮮の核開発の排除と戦争回避のシナリオをどう描くか」 国連大学3階 ウ・タント ホール	<input type="checkbox"/> ご出席 <input type="checkbox"/> ご欠席
3／10 (土) 18：10～18：30	「東京会議」記者会見 国連大学3階 ウ・タント ホール	<input type="checkbox"/> ご出席 <input type="checkbox"/> ご欠席

【ご氏名(漢字・カナ)】 ()

【貴社名】 ()

【ご部署(媒体名)／役職名】 ()

【ご連絡先】ご勤務先・ご自宅 ※どちらかに○をつけてください

【郵便番号】 (〒)

【ご住所】 ()

【お電話番号】 ()

※【当日の緊急連絡先(携帯電話)】()

【ファックス】 ()

【E-mail】 ()

【同行者】 ()名 ※カメラマン、音声マンなど

【テレビカメラ】 ()台